高学年分科会　単元名「オオブロを進化させよう」(大一小)　「松葉超（スーパー）BRG」(松葉小)　（全３時間）単元構造

ねらい：表現の工夫の効果に気付き、表現の工夫を意識して使おうとする。

光村図書		1学期				2学期				3学期		
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6年	年間計画			プロジェクトBlog（12h）「ブログ」を書いてみよう（1h）	プロジェクト①表現の工夫（3h）		プロジェクト②題材・文体・構成・コメント（3h）	プロジェクト③魅力的な文章とは（4h）	プロジェクト④卒業文集に向けて（1h）			
	常時活動		俳句（春）	「言葉ノート」「ブログ」		俳句（夏）	俳句（秋）			俳句（冬）		
	書く			たのしみは	デジタル機器と私たち	文章を推敲しよう		発見、日本文化のみりょく	おすすめパンフレット	卒業文集	大切にしたい言葉	
	話す聞く		聞いて考えを深めよう			対話の練習 いちばん大事なものは	みんなで楽しく過ごすために				今、私は、ぼくは	
	読む	帰り道	時計の時間と心の時間		私と本	せんねんまんねん	やまなし	『鳥獣戯画』を読む	ぼくのブック・ウーマン	「考える」とは		海の命
	着目した表現	空一面からシャワーの水が降ってきた（比喩） 公園の新緑がふりまく初夏のにおい（情景描写）	私はこれを、～と呼んでいます。 ～とは、～のことです。	星座探し出す時 星座見付け合う時	きっかけは～ ～ということを知った。 ～ということがあった。 ～起こっている。それは、～だからだ。	～昇って昇って昇りつめて（反復） そのワニを川がのむ（擬人法） あつい血の樹液をもつ（比喩）	五月と十一月、明と暗（対比） 青白い、青く暗く、日光の黄金（色彩表現） かぷかぷ、つぶつぶ、つうと（オノマトペ）	足をからめて返し技。その名はなんと、かわづ掛け。（体言止め）	にわとりのひっかいたあとみたいな、がまんできない（ものの見方） ぱくぱく ぱくぱく（反復） 花がさいたようにみえてくる（比喩）		ドクドクドクドク（オノマトペ）	壮大な音楽をきいているような、 青い宝石の目（比喩）

学習活動

出合う

1 学習課題の設定
互いのブログの文章を読み合い、学習の見通しをもつ。

①「日光、一年生とのスポーツテスト、今年度初の水泳、こころの劇場観劇」等のブログの文章の、いいなと感じた点に触れているコメントを紹介する。
②ブログの複数のよさに気付く。
③単元の学習課題を設定し、学習の計画を立てる。
④ブログのよさへの気付きを生かして、モデルの文章をよりよくする方法を考え、書き直す。

親しむ

2 考えの形成
「人気ブログ」を分析して、人気の要因（表現の工夫）を知り、個人の学習課題を立てる。

①前時に見付けたブログの文章のよさを想起し、「表現の工夫」として確認する。
【表現の工夫】オノマトペ、比喩、呼び掛け、慣用表現、反復、体言止め、等
題名の工夫、文体の選択、等
②前回の授業以降に書いたブログの文章から、表現の工夫を見付ける。
③ブログの文章で見付けた「表現の工夫」を共有する。
④６～９月に書いた自分のブログを読み返し、自分の文章のどこを変えたいか、どんな表現の工夫を使うとよさそうか（個人の学習課題）を確認する。
⑤学習を振り返る。

生かす

3 考えの形成、推敲、共有、まとめ
個人の学習課題に沿って、ブログの文章を書き直す。書き直した文章を読み合って感想を伝え合い、表現の工夫をするよさを見付ける。

①本時のめあて（個人の学習課題）を確かめる。
②自分が決めたブログの文章を、表現の工夫を使って書き直す。
・表現の工夫を使って考えた文や言葉を書き出す。
・文や言葉から受ける印象を話し合う。
・自分がぴったりだと思う表現を選び、書き直す。
③表現の工夫を使って書き直したブログの文章を、書き直す前と比較して読む。
④友達と読み合って感想を伝え合う。
⑤表現の工夫を使って文章を書くことのよさを出し合い、単元の学習を振り返る。

単元の学習課題：ブログの表現のよさの秘密を見付けて、使ってみよう。（仮）

豊かな言語生活

ア　単元終了後の日常生活において
イ　新しい言葉や表現に興味をもち、その意味や使い方を知ろうとしたり書き留めたりしている。
ウ①　自分の伝えたいことが明確になるように、言葉や表現を吟味して書こうとしている。
②　表現の工夫等に着目し、伝える側の気持ちや考え、場面の様子等を想像しながら読んでいる。
自分の表現が相手に伝わるかどうか考え、言葉を選んだり付け加えたりして書いたり話したりしている。

児童の意識 ◎言葉による見方・考え方

○～さんのこの言葉は確かにおもしろいね。
○～さんのブログは、続きが気になるね。
○最後の一文や題名が読み手に与える印象は大きいね。
◎使っている言葉や表現が豊かだといいなと思う。
○ブログのよさは、他にもいろいろありそうだな。
○自分のブログにもよさを入れられる学習にしたい。
◎この言葉を、どんな言葉や表現にしたらもっと伝わるかな。
◎この言葉とこの言葉、どっちのほうが伝わるかな。
○みんなはどんな言葉に直したのかな。

◎ブログの文章には、今までの国語で学習してきたいろいろな表現が使えるんだね。
◎オノマトペを使っていると、その時の様子がよく伝わるね。
◎「何度も何度も」って繰り返しているから、沢山練習したことが分かるね。
○題名が面白いと、読んでみたくなるよね。
◎文末を丁寧に書くのと、言い切って書くのとでは、印象が違うね。
○書き方のよさを褒めてもらえると、自分の表現の何がよかったのか気付けるね。
◎～さんの「現実に引き戸された」みたいに、かっこいい文章を書きたいな。私も、もっと表現を工夫してみよう。
◎自分のブログのどこを直せばいいかわからないから、友達に聞いてみよう。
◎このブログのこの言葉を直すとよくなると思うんだけど、どうかな。

○どこをどう直してブログをよりよくしようかな。
◎「盛り上がった」を、比喩を使って「話に花が咲いた」に変えると、友達といろいろな話題で話していることがよく表せるな。
◎他にもっといい言葉はないかな。「言葉ノート」や辞書で調べてみよう。
○工夫を使うのが難しいな。友達に相談してみよう。
○ぴったりの言葉が見付かると、気持ちがいいな。
○工夫した後の方が、読んだ人が様子を詳しく想像することができるね。
○前と比べてよくなっている人に「いいね」を送ろう。
○次は、表現の工夫を使ってブログを書いてみたいな。
○これからも表現の工夫を使って、読み手に伝わりやすくしたいな。

知識・技能

（１）オ　語彙
○語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。

（１）ク　表現の技法
○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。

<語句をより理解するための方策>
その語句の　①有無　②言い換え　③経験の想起　④辞書的な意味　⑤動作化

<表現の工夫>
①会話、心内語　②オノマトペ　③比喩(直喩)　④慣用表現　⑤呼び掛け　⑥色彩語　⑦対比　⑧反復　⑨体言止め、倒置　⑩情景描写　⑪比喩（隠喩）

<魅力的な文章の要素>
①表現の工夫　②文章の構成　③話題の選択　④文体の選択

自己調整力

○個人の課題を設定する。
・自分の書いた文章を読み返し、よりよくするための表現の工夫ができそうな部分を考える。
・改善したい部分に合う表現の工夫を考える。

○考えたり出し合ったりしたものの中から、自分が使ってみたい表現や言葉を見付ける。
○学習方法や形態、対話の相手を自分自身で選択する。
○自分の文章のよいところを見付ける。
○個人の学習課題を振り返り、これからどんな文章を書きたいか考える。

他者との協働

○様子や気持ちを詳しく想起できる文章にするために、どの部分を工夫するとよいか話し合う。
○表現から受ける感じや表現の効果を話し合う。

○どのような表現の工夫ができそうか話し合う。
○友達の文章を読み、感想や文章のよいところを伝える。
○表現の工夫をする効果について話し合う。

評価

知・技（１）オ
語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。

知・技（１）ク
比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。

思・判・表　Ｂ（１）ウ　「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。

主体的　進んで、読み手に伝わるように書き方を工夫し、今までの学習を生かしてブログの文章を書こうとしている。